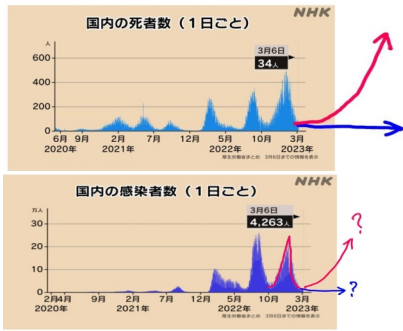




2類から5類に引き下げると云うが・・・

5類に移行すると、医療費の公費負担がなくなり、感染者数の全数把握も止める。感染

5類に移行すると



政府は五月八日をもって新型コロナを感染症法上の2類から5類に引き下げると決めた。コロナでの死者数や感染者数はNHKのグラフによると左の通り。何度も感染者は減っては又増えた。この後、赤矢印のように急増するかも知れない。政府は根拠もなしに青矢印のように感染は収まると希望しているようだ。

3月23日から4月3日(28日は休日)にかけて国立新美術館で「日本アンデパンダン展」が開かれます。(アンデパンダとはフランス語で画壇からの独立を意味します)日曜ジジ通信の原画などを出品します。観覧ご希望の方はご連絡下さい。招待券を送ります。なお、6月の職場美術展、8月の平和美術展にも絵を入れ替えて出品します。

者が増えても分からなくなる。政府は「発熱外来でなくても診てもらえる」と云うが、コロナウイルスの感染力、病原性が弱まった訳ではない。今必要な事は、赤い矢印のようにならないようすることだ。それには検査の体制を維持し、新しい変異株が現れたら直ちに対策をとれる医療体制の準備をして置く事が必要。政府の云うように「マスクは各自の判断で」とか、対策の手を緩めて良いのだろうか？ あなたはどう思われますか？



平戸永谷川の河津桜

神奈川県横浜市港南区下永谷

二〇二三年三月

染井吉野が三月下旬に咲くのに対し、河津桜は一足早く濃いピンクの花を咲かせる。この河津桜は、大島桜と寒緋桜の自然交雑で生まれた。一九五五年に静岡の河津川沿いで発見されたようだ。最近「横浜緋桜」があちこちで見られるようになった。河津桜のようにピンクが濃い。「兼六園熊谷」と云う品種と「寒緋桜」を交配して育成された品種だ。この平戸永谷川プロムナードには二〇〇七年から百五十本の河津桜が植えられた。絵のように、今年は三月の初めには満開に近い木も。今年は二年ぶりに三月二五日から「さくらまつり」が開かれる。この河津桜が終わった頃、淡い染井吉野があちこちで満開になるだろう。

